

# 福音の園だより

【第十九号 二〇〇六年 七月 七日発行】

350・0016 埼玉県川越市木野目一八七八番地一  
特定非営利活動法人 福音の園・埼玉 事務局

☎ 049・230・1111

FAX 049・230・1112

## 御家族の声

### 妻の介護日誌より

H十三・十二・二八 心がうつろ、物事の判断悪し。

・十二・三一 再三意味不明の事を云う。

H十四・一・二二 Y病院検査。N医師よりアルツ

ハイマーと云われる。薬2週間分貰う。

・三・二二 朝八時ラドンへ出掛け、五時過

ぎても帰らず、蕨駅より電話。夜八時過

ぎタクシーで帰る。

・三・二八 ぼぶらの樹介護支援センターに

初めて相談する。

H十五・六・十五 朝散歩に出て不明。五時半頃、

上尾のゴルフ場から電話。引取りに向う。

足がパンパンに腫れる。三回目行方不明。

H十六・八・十三 妹に留守番頼むも、一寸目を離

したとき外出。待つこと十四時間、志木

市内のトヨタディーラーから電話あり。

二十キロ位炎天下を歩く。

H十七・一・二二 午後、妹宅(注・歩いて二分位)

へ行くも不明。夜七時半頃、北浦和駅前

派出所から電話。サンダル履。十時帰る。

H十七・十・十二 福音の園へ入居。(N・M)

## ボランティアの声

### 期待を裏切らない介護施設

五月の晴れた日の午後、ボランティアとして伺いました。ちょうど庭の花壇でお花を植えていた利用者さんの満面の笑顔に迎えられました。一緒に園芸を楽しむ事で、初対面のぎこちなさもなお仲間に入れていただきました。

ガーデニング(園芸療法)を楽しんだ後は入浴でした。一人一人、時間をかけてきめ細やかにお世話をするスタッフ、また入浴を待つ間はスタッフも利用者さんも一緒に歌を楽しんでリラックスマスします。入浴後は、みんなでテーブルを囲んでお茶とアイスクリームをいただきました。

福音の園は、施設が新しく清潔であるのほもちろん、日当たりと風通しが良いので、くつろげて快適でした。廊下も食堂も全体的に広々とゆとりがあり、自然に体が伸びをするようなゆとり感がありました。さりげなく庭のお花を飾ってあるのも心を和ませます。

たえずスタッフの皆さんが気を配って、一人でぼつんとしている方はおられません。和やかな雰囲気があるのか、皆さんが常に笑顔であったのが本当に印象的でした。

帰りは玄関口まで利用者さんたちが見送って下さって、振り向くといつまでも手を振っていたのだいにもとても感激しました。ああ、だからこ

こは「福音の園」なんだな、と納得しました。スタッフも利用者の皆さんも、家族以上に家族的で強く信頼しあっているように見え、私もそのお仲間に入りたいと思ってしまうました。

福音の園は介護施設であるのだけど、ゆったり

暮らせる暖かい家庭のようですね。これからもずっと、利用者の皆さんが笑顔でいられるよう、スタッフの皆さんは「希望への支援の実践」を続けていたいただきたいと思いました。

まだ資格を取ったばかりの駆け出しヘルパーの私ですが、「期待を裏切らない介護施設」を福音の園に見ることができ、本当に勉強になりました。私もスタッフの皆さんの姿勢を目標にしたいと思っております。本当にお世話になりました。

(戸田市 J・H)

## ご近所の声

### 花と笑顔

私は花が大好きで家の回りで育てております。時々水やりをしていると、福音の園の方々が家の前を通りがけに「こんにちは」とお声を掛けて下さいます。立ち止まり、「その花きれいですね、何と言う名前ですか」と聞かれます。

笑顔でじっとお花を見つめていらっしゃる皆様が目がとても生き生きと輝いて見えます。

その姿を拝見し、私も心が癒されます。これから四季折々の花を楽しみながら育てていきたいと思っております。

どうぞ、皆様でお出掛け下さいませ。(S・M)

## 花菜園の風景

ラベンダー摘みを先月「園芸療法の日」に実施。乾燥させてポプリに使用します。また、各階西側ベランダには日除けネット(幅1m・長さ8m)を屋上手摺りから地面に設置。朝顔、夕顔で夏本番「西日対策」に備えます。(ホーム長 杉澤 卓巳)

## 御礼

アスパラガス・F・T様(北海道・共和町)